

広報

# かみごおり

さわやかに歴史と未来の出逢うまち

1月号

1996. No.320  
(平成7年12月22日発行)

発行・編集／上郡町役場・広報委員会 ☎2-1111



## 賀正

今年も希望に向かって よ〜いドン!

白旗城まつりでの「白旗ロードレース」には、小学校1年生から6年生までの100人余りの子どもたちが参加。ゴールをめざして赤松の里を全力で走りぬきました。私たちも、今年が光り輝く年になるように好スタートをきりたいものです。

### ★主な内容

- 新年のあいさつ ..... 2～4
- 財政事情のお知らせ ..... 6～8
- VIVAかみごおり ..... 10
- ふれあいフェスティバルかみごおり ..... 11～13
- まちの話題 ..... 14～16
- お知らせ伝言板 ..... 18～22
- 赤松の郷歴史紀行 ..... 23

### ★人口のうごき (11月末現在、( )内は前月比)

- 人・口 19,396人(+4)  
男9,284人 女10,112人
- 世帯数 5,870世帯(+12)



獅子舞 (大枝八幡神社)

# 生涯学習フェスティバル 『VIVAかみごおり』

「広げよう学びの輪、見つめよう  
郷土の文化」をテーマに学習の場  
を求めて町民が集う！

11月3日から5日にかけて、「文化」をテーマに、  
こころ豊かな町づくり、人づくりを目的とした、生  
涯学習フェスティバルが開催されました。

一人ひとりが個性を生かし、いつでも、どこでも、  
だれでも自由に学び、一生楽しく幸せに暮らせる。  
そんな社会を実現したくて、皆さんとともに学習を  
通してふれあいを広げ、文化の向上と発展を考える  
催しが繰り広げられました。

## 心のふるさと 郷土芸能

の向上、豊かな人間性をつくる  
一貫として公演されました。

4日(土)には、野外ステージで  
獅子舞(山野里・大枝)や、お  
田植まつり(山野里)、浦安の舞  
(上郡)、平家郷(高田)と、それ  
ぞれ各地区で伝承されている郷  
土芸能が披露されました。

これらは、清流千種川や深き  
山々の恵まれた自然と長い歴史  
の中から、生まれ育まれてきた  
地域の文化であり、ステージを  
囲んだ人たちからも、「心をなご  
ませる。魅かれるものがある。」  
との声が聞かれました。

## お見事！日ごろの 学習成果を発表

5日(日)には、各サークルで学  
んだ学習の成果が発表されまし  
た。

舞踊やダンス、民謡にコーラ  
スなど、それぞれ磨き上げた  
“技”に、みなさん魅了され、出  
演者もいきいきと発表していま  
した。

## 豊かな心と芸術性 あふれる展示の数々

フェスティバルでは、児童の

絵画や習字、ポスターなど、豊  
かな心が表現された作品や高校  
生が創意工夫したロボットなど  
が展示されました。

また、上郡町にゆかりがあり、  
現在活躍中の芸術家たちの作品  
も展示され、みなさんに芸術性  
に触れていただく機会も設けら  
れました。

## フェスティバルを 終えて……

学習の仕方として、いろいろ  
な催しを通して、見る学習、聴  
く学習、体験学習などがあり、  
伝承されてきたものを大切にし  
たり、新しく作られたものをい  
かに引き継ぐかなどの考え方は、  
人それぞれ違うかも知れませ  
ん。しかし、いづれかの学習にお  
いて、みなさん一人ひとりが自  
分の個性を生かし、有形無形を  
問わず温かい心を通して文化を  
創造することは、自身の心の豊  
かさを生み、ひいては郷土の活  
性化につながり、生涯学習や交  
流の輪をさらに広げていただけ  
るものと思います。



郷土芸能に飛び入り出演



練習で磨いた“のど”の成果を発表



浦安の舞 (上郡天満神社)